2026年11月20日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および ＫＰＩ実績値の公表について

- 当組合は、「一人ひとりの思いをカタチに。」 のスローガンのもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、 農・ひと・自然を大切にし、豊かなくらしの実現と地域社会の発展に貢献することを理念として掲げ、農業と地域社会に根差した地域金融機関となるための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通KPI」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が、共同で事業運営しております。

岩手中央農業協同組合

Ⅰ.取組状況

1　組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

（1）信用の事業活動　【原則２本文および（注）、原則３（注）原則６本文および（注２、３、６、７）補充原則１～５本文および(注)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2026年3月末時点）＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 （前年度末：±0）	8 （前年度末：+0）
株式型	4 （前年度末：±0）	7 （前年度末：+1）
REIT型	2 （前年度末：±0）	3 （前年度末：±0）
バランス型	12 （前年度末：+2）	

※　現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

＜商品選定の考え方＞

JAバンクのセレクトファンドは国内約6,000本の中から以下のような選定基準で長期投資に適した投資信託を厳選しております。

① **長期投資を前提**とした投資信託であること

② **手数料が良心的な水準**であること

③ 過去の**運用実績が相対的に良好**であること

④ 資産形成層には過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

⑤ 運用体制について外部機関の評価を得ていること

1　組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

（2）共済仕組み・サービス 【原則２本文および（注）、原則３（注）、原則６本文および（注２、３、６、７）、補充原則１～５本文および(注)】

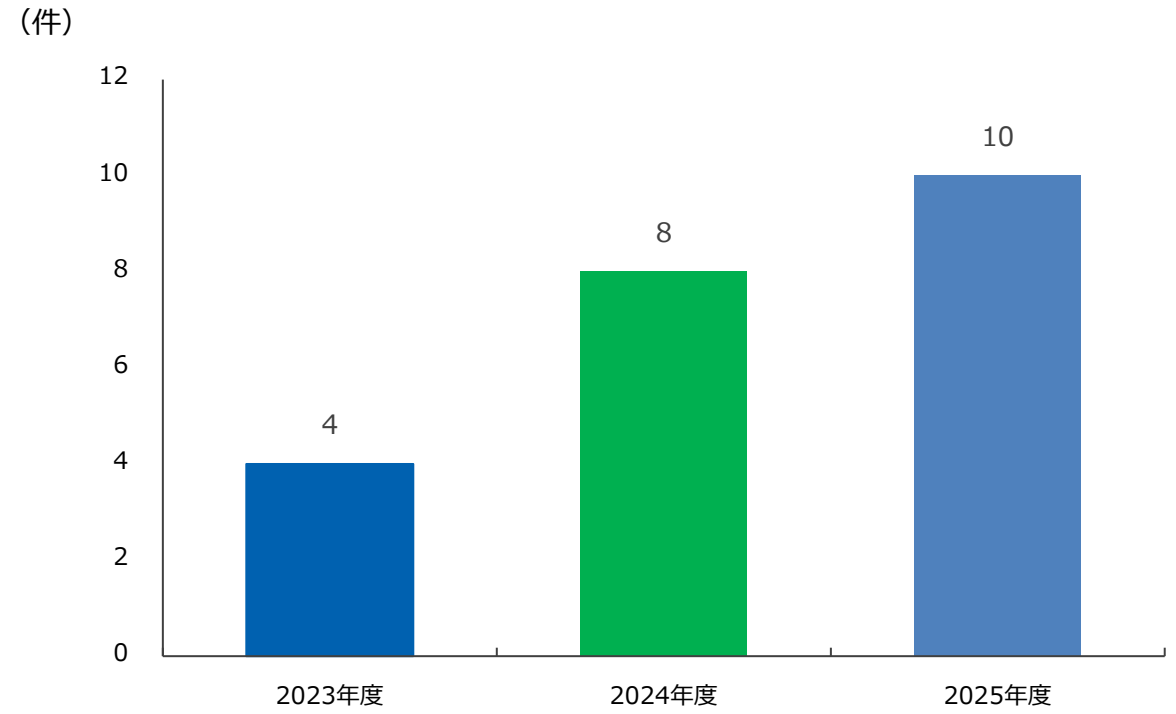
- 当組合では、組合員・利用者の皆さまが、生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供します。
- 住宅価格の高騰により連帯債務の住宅ローン利用者が増加したことを受けて、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保証が可能となる連生タイプの取扱をしております。
- 当組合は、市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）の提供は実施しておりません。
- 総合満足度は令和8年度２月末時点で97.0%となっており、高水準を維持しております。
- なお、共済事業については、全国共済農業協同組合連合会と共同で事業運営を実施しており、お客さまの声や様々な顧客情報について相互に連携しております。

2　お客さま本位の提案と情報提供①　【原則２本文および（注）、原則５本文および(注１～５）、 原則６本文および（注１、２、４、５）】

（1）信用の事業活動

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案しております。
- なお、現在「毎月分配型ファンド」を選択されているお客さまはいらっしゃいません。

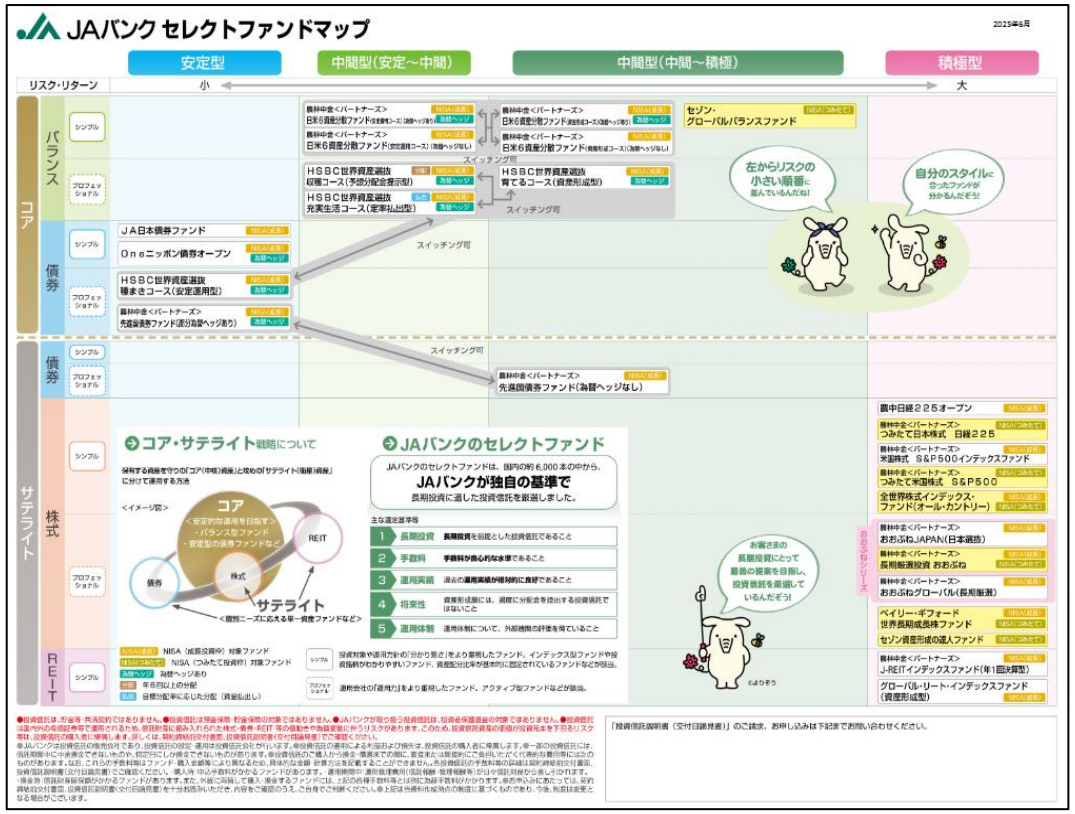
＜投信つみたて契約件数の推移＞



2　組合員利用者本位の提案と情報提供②　【原則４、原則５本文および（注１～５）、原則６本文および（注１、２、４、５）】

（1）信用の事業活動

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、資産運用ガイダンス、ＪＡバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。



2　組合員利用者本位の提案と情報提供③

（2）共済の事業活動　【原則４、原則５本文および（注１～５）、原則６本文および（注１、２、４、５）】

① 共済仕組み・サービスのご提案

- 組合員・利用者に対して、3Q訪問活動を通じて情報提供を行い一人ひとりの加入目的・ライフプラン等に応じた、最適な保障・サービスをご提案いたします。また、特にご高齢の組合員・利用者の皆さまに対しては、より丁寧に分かりやすくご説明し、ご家族も含めて十分ご納得、ご満足いただけるよう、ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなど、きめ細やかな対応を行っています。
- ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。
- 保障加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等はご負担いただいておりません。

② 情報提供

- お客さまに対して、各種公的保険制度等にかかる情報提供を実施したうえで、一人ひとりの加入目的・ライフプラン等に応じた、最適な保障・サービスをご提案しております。

2　組合員利用者本位の提案と情報提供③

（2）共済の事業活動　【原則４、原則５本文および（注１～５）、原則６本文および（注１、２、４、５）】

③　契約締結時の対応

- 保障の加入にあたっては、お客さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。

④　高齢者対応

- ご高齢の組合員・利用者の方については、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時にはご家族の同席を徹底するなどによりきめ細やかな対応を行っております。高齢者対応における親族等の同席率は、令和8年度2月末で生命共済80.0%、建物更生共済70.1%となりました。
- なお、令和7年度から新たに「共済契約のお手続きに関するご案内」をお渡しし、ご契約者さま・被共済者さまだけでなく、ご親族の方にもご安心いただけるよう努めております。

2　組合員利用者本位の提案と情報提供③

（2）共済の事業活動　【原則４、原則５本文および（注１～５）、原則６本文および（注１、２、４、５）】

⑤　各種手続きとアフターフォローの実施

- 共済に関する各種手続きの実施にあたっては、手続きの目的・内容等を組合員・利用者の皆さまに分かりやすく説明しています。
- ご加入後も、日々の接点を通じてよりご安心いただけるアフターフォローを実施するなど組合員・利用者の皆さまに寄り添った取り組みを実施しております。
- 令和5年度より支払い請求手続きの簡素化を推し進め、また加入者自身によるお手続きが困難になった場合に備え、「指定代理請求人」をご家族の皆さまへ指定することのご案内により、組合員・利用者の皆さまの利便性向上のための取り組みを行っております。
- 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者に皆さまに手数料等はご負担いただいておりません。

３　利益相反の適切な管理　【原則３本文および（注）】

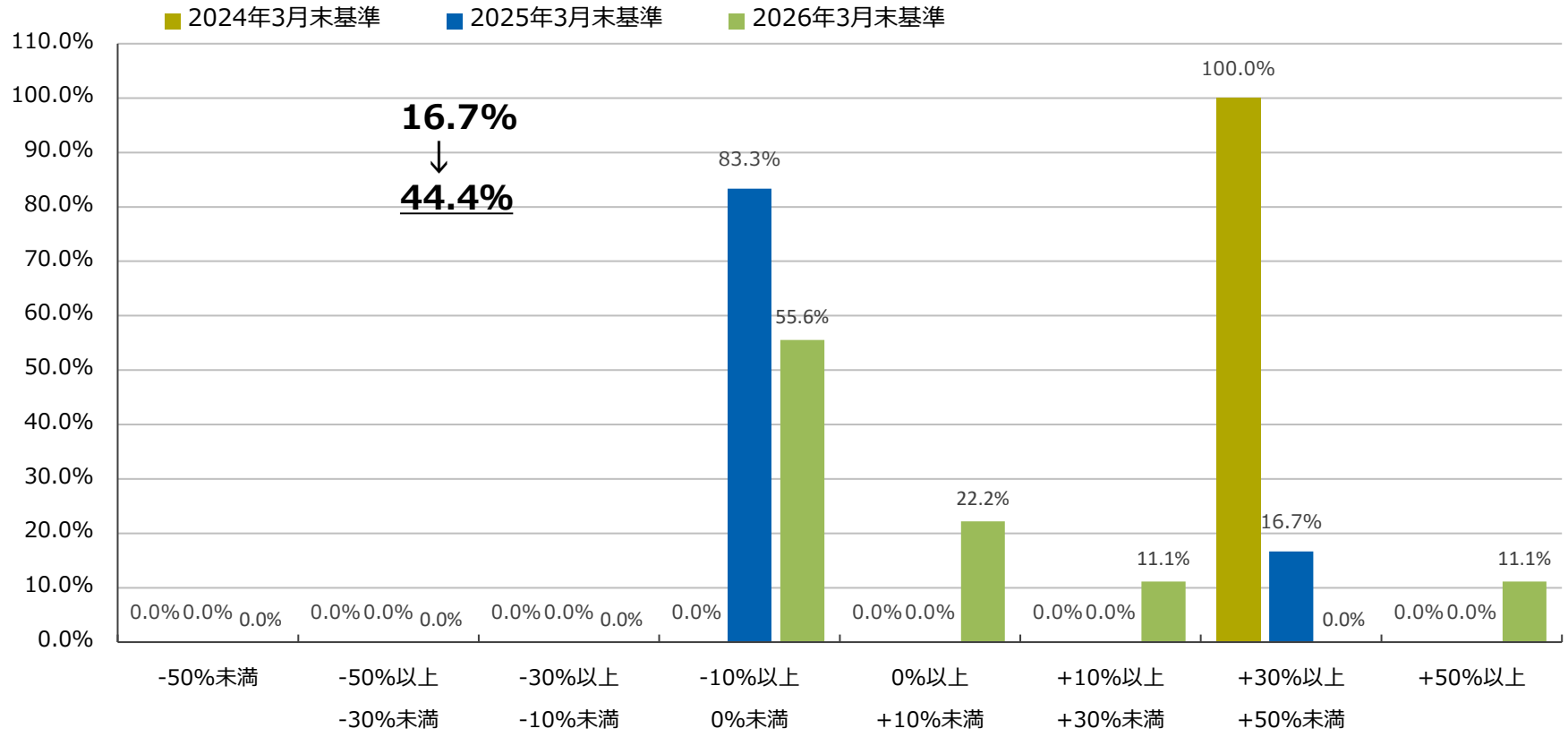
- 当組合では、金融商品について内容や重要情報をわかりやすくご提供することを目的とした「重要情報シート」を活用してご説明しております。
  またお客さまへの商品提供や共済仕組みのご提案にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、各部署は取引を行う際に、当該取引が利益相反のおそれのある取引かどうか確認しており、該当する場合は、リスク管理部署へ報告するとともに適切に管理しております。リスク管理部署は各部署からの相談・協議を行っております。

４　お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築　【原則２本文および（注）、原則６（注５）】【原則７本文および（注）】

- 当組合では、お客さまの信頼を獲得し、満足していただける金融商品・共済仕組み・サービスを提供できるよう、各種研修の受講や勉強会の定期的な実施、証券外務員資格やＦＰ資格等の外部資格取得を推奨し、幅広く研修コンテンツを充実させることで、職員の能力向上を図り、お客さま本位のご提案を実践できる人材を育成しております。

1　運用損益別顧客比率（投資信託）

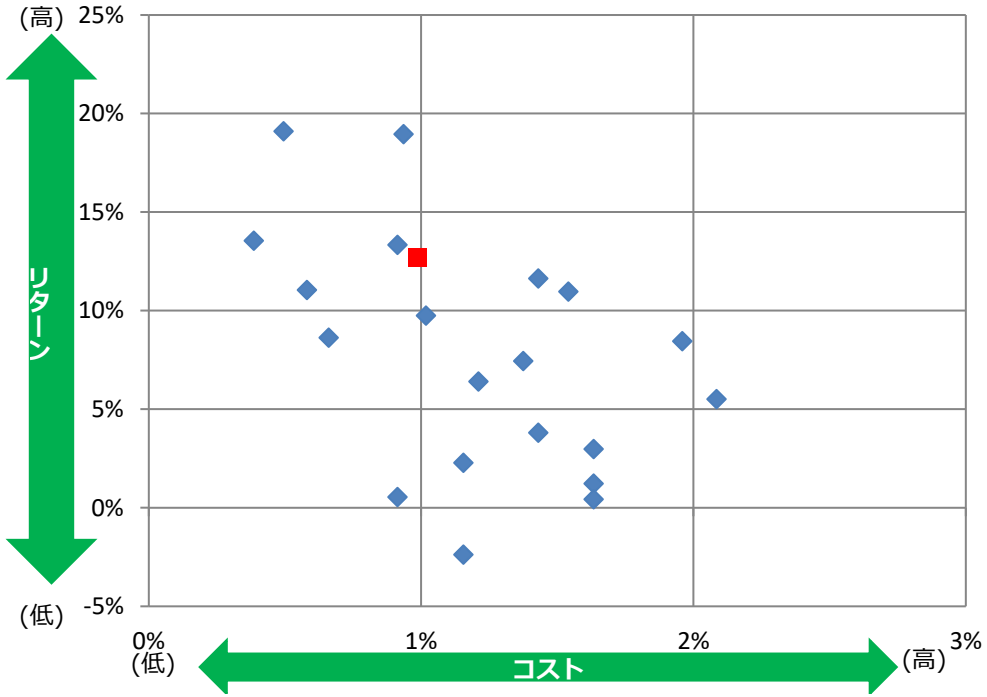
- 「運用損益別顧客比率」は、2026年3月末時点では全体の44.4%のお客さまの損益がプラスとなりました。
- 運用期間が短いこと、市場の一時的な変動の影響を受けていることが実績の要因となっております。
- アフターフォロー等で相場環境について丁寧な説明を行うとともに組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資を継続してご提案しております。



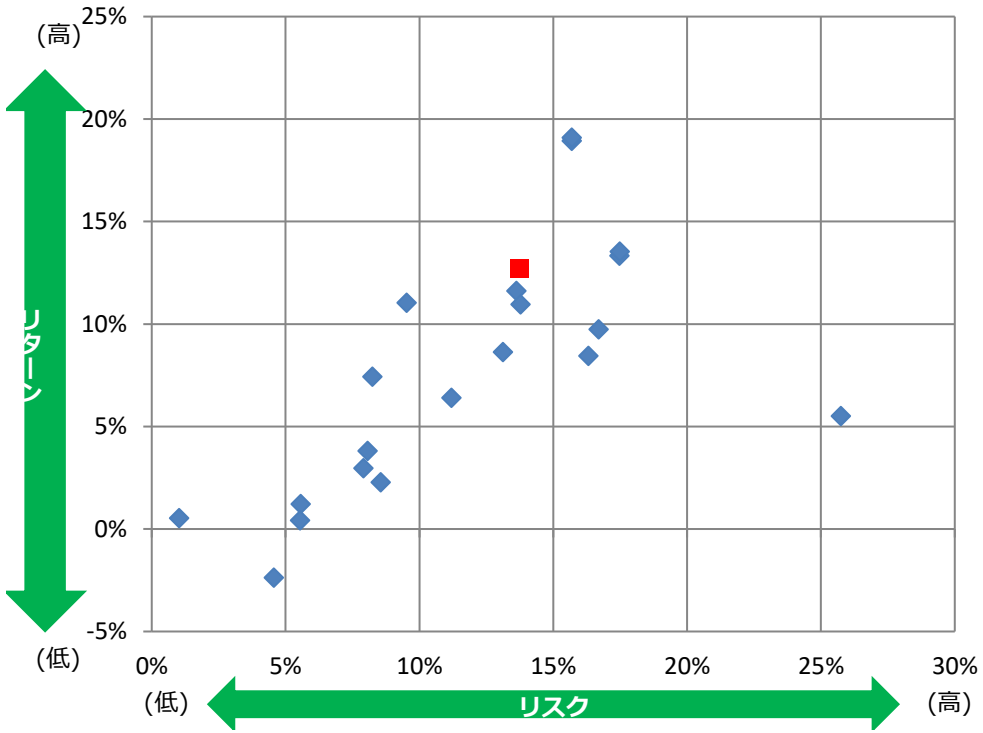
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2026年３月末）

- ＪＡバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2026年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.99%、平均リスク13.75%に対して、平均リターンは12.70%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 預りファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

3　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2026年３月末）

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	米国株式　S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	18.94%	15.69%	0.94%
2	つみたて米国株式　Ｓ＆Ｐ５００	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.09%	15.70%	0.50%
3	長期厳選投資　おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	11.63%	13.63%	1.43%
4	日米６資産分散ﾌｧﾝﾄﾞ(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	2.28%	8.56%	1.16%
5	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.33%	17.47%	0.91%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	10.96%	13.78%	1.54%
7	つみたて日本株式　日経２２５	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.54%	17.49%	0.39%
8	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	11.04%	9.52%	0.58%
9	おおぶねグローバル（長期厳選）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	8.63%	13.12%	0.66%
10	HSBC世界資産選抜　収穫ｺｰｽ(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント㈱	1.22%	5.57%	1.63%
11	HSBC世界資産選抜　育てるｺｰｽ(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント㈱	2.97%	7.91%	1.63%
12	日米６資産分散ﾌｧﾝﾄﾞ(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-2.38%	4.57%	1.16%
13	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	5.51%	25.75%	2.08%
14	おおぶねＪＡＰＡＮ（日本選抜）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	6.40%	11.20%	1.21%
15	ダイワ・グローバルＲＥＩＴ・オープン（毎月分配型）	大和アセットマネジメント（株）	8.45%	16.32%	1.96%
16	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne（株）	0.54%	1.03%	0.91%
17	世界の財産３分法ファンド（毎月分配型）	アモーヴァ・アセットマネジメント（株）	7.44%	8.25%	1.38%
18	グローバル・リート・インデックスファンド（資産形成型）	大和アセットマネジメント（株）	9.75%	16.70%	1.02%
19	ＨＳＢＣ世界資産選抜　充実生活コース（定率払出型）	HSBCアセットマネジメント㈱	0.42%	5.55%	1.63%
20	One高格付インカム・オープン（毎月決算コース）	アセットマネジメントOne（株）	3.81%	8.07%	1.43%
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		12.70%	13.75%	0.99%

※ 2026年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は８本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。